

15 陸の豊かさも
守ろう



里山の恵みを未来につなぐ

学校法人尚絅学院 里山再生プロジェクト 公開講演会



DO MORINI-CATIONS

産業革命以降、薪炭林としての利用により豊かな自然を育んできた森に人が入らなくなり、多様性が失われつつあります。地球温暖化が進行する中、共有財である「森」と「人」がどのように関わっていくべきでしょうか？

本イベントでは、学校法人尚絅学院が2016年より始めた「尚絅の森『里山再生プロジェクト』」に関する活動報告をはじめ、経済・民俗・文化の観点から、研究・活動されている方たちが、現在の取り組みをご紹介します。森づくりの可能性を探ります。

わたしたちの生活に欠かせない森について、市民のみなさんと気軽に話し合い、有意義で楽しいひとときを過ごせたら幸いです。ふるってご参加ください。

日時 | 2020年2月11日 (Tue)

10:00 ~ 13:00

場所 | 増田公民館 ホール

宮城県名取市増田4丁目7-30 北棟 4F

学校法人尚絅学院
SHOKEI GAKUIN ACADEMIC JURIDICAL PERSON

連絡先

事務局（経営管理部総務課）宮城県名取市ゆりが丘四丁目10番1号
TEL:022-381-3332 FAX:022-381-3335 E-mail:somuka@shokei.ac.jp



プログラム

10:00 | オープニング「共有財としての森」

佐々木 公明 / 学校法人尚綱学院 理事長

10:10 | 講演「木づかいの現状」

小泉 智 / 仙台地方振興事務所 林業振興部 林業振興班 技術次長

業としての森づくりの現状をはじめ、人口林や放置林の状況やこれからの未来に向けた可能性についてお話いただきます。

10:45 | パネルディスカッション

ファシリテーター：海藤 節生 / NPO 法人水守の郷七ヶ宿 理事長
尚綱学院大学 客員研究員

パネリストの皆様より、森の空間利用や燃料としての薪の利用、里山の獣害と食を結び取り組みなどを話題提供いただき、里山の恵みを未来へつなぐための「森づくりの可能性」についてディスカッションを行います。

12:00 | 交流会

鹿肉スープや飲物を囲みながら参加者同士の交流を深めます。お気軽にご参加ください。
(～13時ごろまで)



パネリスト

東 愛子 / 尚綱学院大学 社会部門 准教授

渡邊 春輝 / 尚綱学院大学 東研究室 ゼミ生 3年生

専門は環境経済学で分散型電源を活用するための電力市場制度設計が研究テーマ。
大学の里山再生プロジェクトでは、整備内容の異なる森の評価指標を作るべく調査中。

西間木 由美 / 一般社団法人ボディジャンプ 代表理事

16年にわたり、行政・各運動施設にて赤ちゃんから高齢者までの運動指導を行う。教職員・スポーツ指導者向け研修会や「感覚」を大切にされたプログラムの開発・普及にも取り組んでいる。

木平 英一 / 株式会社ディーエルディー バイオエネルギー事業部

薪ストーブ普及率の高い長野県伊那市にある薪ストーブの輸入代理店で、NGとされた針葉樹で便利な自動宅配薪システムを構築。宮城県にも支店があり仙台市や名取市などで同様の薪宅配がされている。

小野寺 望 / 食猟師

牡鹿半島でニホンジカの有害獣捕獲を担い、狩猟や野生食材などを採取しながら、食材の育つ背景を伝える食猟師。全国の名だたるシェフから小野寺さんの仕留めた肉を使いたいと引き合いが来る。

申込
方法

このチラシのQRコード又は、
学校法人尚綱学院 HP「講演会申込フォーム」「お電話」の
いずれかにてお申し込みください。

QRコード

